



2023年5月29日

報道関係者各位

長期使用住宅部材標準化推進協議会

第8期中間報告

2022年度活動実績および2023年度事業計画

長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称:長住協/CJK、会長:細野雅信/ミサワホーム株式会社 常務執行役員)は、住まい手のより豊かな住生活の実現に貢献するとともに会員各社および住宅関連産業の拡大へつながるよう、第8期の目標として4つの方針を掲げ活動しています。

第8期(2022年5月25日~2024年5月24日) 活動方針

1. 協議会活動基盤の強化(会員企業 115社)
2. 標準化の推進(CJK部材の標準化 135品目)
3. CJK部材の普及推進(生産品目の拡大:CJK部材の製品数 510品目)
4. CJK部材の普及推進(表示品目の拡大:CJK部材のHP掲載製品数 190品目)

第8期初年度(2022年度)は、会員企業各社の告知活動や関連業界団体に向けた本協議会活動の説明、CJK基準書作成協力の依頼によって2社が新規入会し、会員企業数は112社となりました。

CJK部材は各分科会・委員会で審査・承認・登録の上、新たに11品目を標準化し、合計137品目となりました。

生産品目の拡大推進活動によりCJK部材の製品数は合計480品目、表示品目に対する活動により協議会ホームページでの掲載製品数は合計167品目となりました。

またCJK部材の管理および事務局運営に関する業務を適正に運用するため、「CJKマーク表示部材提出書の申請」・「CJK適合部材シートの長住協HPへの掲載依頼」・「会員登録情報の追加・変更」の業務フローを見直し、『CJK申請管理システム』の正式運用を開始しました。

なお、新型コロナウイルスの影響で出展を見合わせていた認知度向上策のイベントに関しては、住宅産業協議会と提携し、2024年1月度開催の企画として合同で討議し進めています。

【参考資料】

2022 年度実績

■2022 年度に新規入会した企業

※2022 年度末 112 社
(正会員数 27 社、賛助会員数 85 社)

賛助会員	中央化成品株式会社	2022 年 10 月度 入会
賛助会員	株式会社リラインス	2022 年 11 月度 入会

■2022 年度に審査・承認・登録した CJK 部材

※2022 年度末 137 品目

新規:11 品目

127.棟包み	128.内部用化粧巾木
129.浴室用手摺(取付穴1点式)	130.浴室用手摺(取付穴4点式)
131.内部引き戸用引手	132.玄関用ドアスコープ
133.クッションフロア	134.軒天井材
135.雨押え	136.換気框用フィルター
137.タイルカーペット	

改訂:1 品目

065.カーテンレール用ランナー

■2022 年度に協議会ホームページへ新たに掲載した CJK 部材(会員企業名)

※2022 年度末 167 製品

088.内部ラッチ受け(株式会社川口技研)
088.内部ラッチ受け(マツ六株式会社)
109.樹脂勝手口ドア用ドアクローザー(株式会社エクセルシャノン)
109.樹脂勝手口ドア用ドアクローザー(YKK AP 株式会社)
113.内倒し窓用トップラッチ(三協立山株式会社)
113.内倒し窓用トップラッチ(株式会社 LIXIL)
113.内倒し窓用トップラッチ(YKK AP 株式会社)
119.オーバーフロー管ストレーナーキャップ(株式会社アルテック)
124.棟換気部材(ケイミュー株式会社)
127.棟包み(ケイミュー株式会社)

※CJK 部材の掲載ページ <https://www.chojukyo.jp/parts/>

長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称:長住協)について

本協議会は、経済産業省の研究会の提言に基づき、住宅部品・部材の標準(共通)化の推進団体として設立され、大手住宅メーカー・建材メーカー・住宅設備機器メーカーが一堂に会し、住宅を長く住み継ぐために不可欠なメンテナンスを容易にするため、住宅部材の標準(共通)化を推進する事を目的として活動しております。

<https://www.chojukyo.jp/>

本協議会の会員企業構成や CJK 部材の詳細に関しましては、最新の協議会パンフレットをご確認ください。

https://www.chojukyo.jp/docs/chojukyopanfu_202305.pdf

〔本件に関するお問い合わせ先〕

長期使用住宅部材標準化推進協議会 事務局 ミサワホーム(株)大野 昭治

Tel:070-1260-1058 Mail:cjk@chojukyo.jp

定休日:水・土・日・祝 受付時間:10時~17時